

正答（例）【中学校数学B】

1 (1) 0.7

(2)  $\frac{1}{12}$

(3) 説明（例） 全校の回答用紙 90 枚をくじにする場合は全部で 90 通りの出方があり、F が選ばれるときは、場合の数が 27 通りなので確率は  $\frac{3}{10}$  である。また、1 年生の回答用紙 50 枚だけをくじにする場合は全部で 50 通りの出方があり、F が選ばれるときは、場合の数が 20 通りなので確率は  $\frac{2}{5}$  である。2 つの場合の確率を比べると、 $\frac{3}{10}$  より  $\frac{2}{5}$  の方が大きい。よって、全校の回答用紙 90 枚をくじにする場合よりも 1 年生の回答用紙 50 枚だけをくじにする場合の方が F が選ばれやすい。

2 (1) 28

(2) 説明（例）  $4(n-3)$

$n-3$  は整数だから、 $4(n-3)$  は 4 の倍数である。

したがって、はじめの数としてどんな整数を入れても、計算結果はいつでも 4 の倍数である。

(3) (例) アを選択して  
4

3 (1) ア

(2) ① 2, ② 4

(3) 説明（例） 列車アと列車エの 2 つのグラフについて、 $y$  の値が 6 のときの  $x$  の値の差を求める。

4 (1) ア

(2) (例) ウを選択して

②, ③より、 $OA + AE = OC + CF$  ……④

(3) 説明（例） 四角形 ABCD が正方形ならば、四角形 EBF D はひし形になる。

5 (1)  $\frac{560}{3500} \times 100$

(2) イを選択して

説明（例） 通常料金  $a$  について、団体料金の 10 人分が通常料金の何人分にあたるかを表す式に、 $a$  が含まれていないので、通常料金が変わっても、団体料金の 10 人分が通常料金の何人分にあたるかは変わらない。